

# たけだ



QUARTERLY MAGAZINE TAKEDA

## たけだ通信

TAKEDA [No.111] 平成29年3月1日発行



March 2017 No. 111

### 医療法人 財団 康生会

救急告示病院・地域医療支援病院・臨床研修指定病院・開放型病院・日本医療機能評価機構認定病院

#### 武田病院 ☆

〒600-8558 京都市下京区堀小路通西洞院東入東堀小路町841-5(JR京都駅前)  
TEL.075-361-1351 FAX.075-361-7602

#### 武田病院画像診断センター

〒600-8558 京都市下京区堀小路通西洞院東入東堀小路町841-5(JR京都駅前)  
TEL.075-361-1680 FAX.075-361-1682 プリーコール 007-77-5588

#### 人間ドック健診施設機能評価認定

#### 武田病院健診センター

〒600-9216 京都市下京区堀小路通西洞院東入東堀小路町608 日本生命京都三哲ビル3F  
TEL.075-365-0825 FAX.075-361-3829

#### 北山武田病院

〒603-8053 京都市北区上賀茂岩ヶ垣内町99番地(地下鉄北山駅)  
TEL.075-721-1612 FAX.075-701-7399

#### 山科武田ラクトクリニック

#### 山科武田ラクト健診センター 人間ドック健診施設機能評価認定

〒607-8080 京都市山科区竹鼻竹ノ街道町92番地 山科駅前ラクト山科棟3階  
TEL.075-581-0910(山科武田ラクトクリニック) TEL.075-581-6696(山科武田ラクト健診センター)  
FAX.075-581-0991

#### 梶井町放射線診断科クリニック

〒602-0841 京都市上京区河原町通今出川下る東入梶井町457番地  
TEL.075-950-5751 FAX.075-950-5753

#### 京都駅前武田透析クリニック

〒600-8216 京都市下京区木津屋橋通新町西入東堀小路町606-3-2 三旺京都駅前ビル6階  
TEL.075-351-9200 FAX.075-351-9201

#### 康生会クリニック

〒600-8231 京都市下京区油小路通下魚ノ棚下る油小路町277  
TEL.075-354-7227 FAX.075-354-7228

#### 柳馬場武田クリニック

〒604-8113 京都市中京区柳馬場通六角下る井筒屋町407番地 シティハウス407 1F  
TEL.075-213-2216 FAX.075-213-2217

#### 京都壬生苑診療所

〒604-8821 京都市中京区壬生堀ノ宮町31番地  
TEL.075-823-3371 FAX.075-822-6550

#### たけだ診療所 (免疫・遺伝子クリニック)

財団法人レイ・バスターール医学研究センター関連施設  
〒600-8216 京都市下京区木津屋橋通新町西入東堀小路町606-3-2 三旺京都駅前ビル1階  
TEL.075-351-8282 FAX.075-351-8448

#### 柳馬場訪問看護ステーション ☆

〒604-8113 京都市中京区柳馬場通六角下る井筒屋町407番地 シティハウス407 1F  
TEL.075-212-7266 FAX.075-212-7321

#### 京都市 下京・中部 地域包括支援センター

#### 高齢サポート・下京中部 ☆

〒600-8231 京都市下京区油小路通下魚ノ棚下る油小路町288番地 井筒堀川ビル1階  
TEL.075-361-2141 FAX.075-361-2145

### 医療法人 財団 医道会

回復期リハビリテーション病棟・救急告示病院・開放型病院・日本医療機能評価機構認定病院

#### 十条武田リハビリテーション病院

〒601-8325 京都市南区吉祥院八反田町32(十条新千本角)  
TEL.075-671-2351 FAX.075-671-2961

#### 十条訪問看護ステーション ☆

〒601-8107 京都市南区上鳥羽南唐戸町7番地 Kビル1階 表中号  
TEL.075-671-2415 FAX.075-671-2435

#### 緩和ケア病棟・日本医療機能評価機構認定病院

#### 稲荷山武田病院

〒612-0801 京都市伏見区深草正覚町27番地(京阪烏羽街道駅)  
TEL.075-541-3371 FAX.075-532-5115

### 医療法人 財団 宮津康生会

日本医療機能評価機構認定病院

#### 宮津武田病院

〒626-0041 京都府宮津市鶴賀2059番地の1(京都丹後鉄道宮津駅)  
TEL.0772-22-2157 FAX.0772-22-1125

### 医療法人 乳腺クリニック 児玉外科

〒603-8325 京都市北区北野上白梅町35  
TEL.075-463-9050 FAX.075-462-5504

救急告示病院・臨床研修指定病院・歯科医師臨床研修指定病院・開放型病院・日本医療機能評価機構認定病院・人間ドック健診施設機能評価認定

#### 宇治武田病院

〒611-0021 京都府宇治市宇治里尻36-26(JR宇治駅前)  
TEL.0774-25-2500 FAX.0774-25-2353

#### 指定介護療養型医療施設

#### 木津屋橋武田病院 ※

〒600-8231 京都市下京区油小路通下魚ノ棚下る油小路町293番地  
TEL.075-343-1766 FAX.075-343-5739

QUARTERLY MAGAZINE TAKEDA

## たけだ通信

TAKEDA [No.111] 平成29年3月1日発行



武田病院グループでは、環境保全活動に取り組み、CO<sub>2</sub>の発生を削減できる水なし印刷及び環境にやさしい植物油インキを採用しています。

※京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構による第三者評価受診施設  
☆ISO9001：2008認証

### 医療法人 仁仁会

救急告示病院・臨床研修指定病院・卒後臨床研修評価機構認定病院・歯科医師臨床研修指定病院・開放型病院・日本医療機能評価機構認定病院・京都府がん診療推進病院

#### 仁仁会武田総合病院

〒601-1495 京都市伏見区石田森南町28-1(地下鉄石田駅・外環状線沿)  
TEL.075-572-6331 FAX.075-571-8877

#### 附属施設/仁仁会武田総合病院リハビリセンター

〒601-1439 京都市伏見区石田森南町27-1  
TEL.075-572-5139 FAX.075-571-8877

#### 疾病予防センター

〒601-1495 京都市伏見区石田森南町28-1  
TEL.075-572-6365

#### 武田クリニック[血液透析センター]

〒601-1495 京都市伏見区石田森南町33-6  
TEL.075-572-6984 FAX.075-572-6218

指定管理者 医療法人 仁仁会 救急告示病院

#### 精華町国民健康保険病院

〒619-0241 京都府相楽郡精華町祝園砂子田7番地(JR祝園駅・近鉄新祝園駅)  
TEL.0774-94-2076 FAX.0774-93-2818

#### 老人保健施設 白寿 ※☆

〒601-1434 京都市伏見区石田森南町9番地  
TEL.075-572-8207 FAX.075-572-8726

#### 京都市下京区地域介護予防推進センター ☆

〒600-8231 京都市下京区油小路通下魚ノ棚下る油小路町288番地 井筒堀川ビル1階  
TEL.075-361-1060 FAX.075-361-0901

#### 老人保健施設 いわやの里 ※☆

〒607-8177 京都市山科区大宅古海道町52  
TEL.075-572-1811 FAX.075-572-1880

指定管理者 医療法人 仁仁会

#### 辰巳診療所

〒601-1345 京都市伏見区醍醐外山街道町21  
TEL.075-571-8545 FAX.075-571-8555

#### おもいやり訪問看護ステーション ☆

〒601-1434 京都市伏見区石田森南町9番地  
TEL.075-574-1621 FAX.075-574-1622

#### 京都市 醍醐・南部 地域包括支援センター

#### 高齢サポート・醍醐南部 ☆

〒601-1434 京都市伏見区石田森南町9番地  
TEL.075-572-6572 FAX.075-575-4738

### 社会福祉法人 青谷福祉会

#### 特別養護老人ホーム ヴィラ稲荷山 ※☆

#### ヴィラ稲荷山デイサービスセンター ※☆

〒612-0801 京都市伏見区深草正覚町23番  
TEL.075-561-6550 FAX.075-561-6552

#### 軽費老人ホーム ヴィラ城陽 ※☆

#### 訪問介護ステーション ヴィラ城陽 ※☆

〒610-0114 京都府城陽市市辺世原1番地  
TEL.0774-55-1875 FAX.0774-54-3321

#### 特別養護老人ホーム ヴィラ山科 ※☆

#### ヴィラ山科デイサービスセンター ※☆

#### ヴィラ山科オレンジデイサービスセンター ※☆

〒607-8179 京都市山科区大宅御所田町115-1  
TEL.075-572-6677 FAX.075-572-6866

#### 訪問介護ステーション ヴィラ山科 ※☆

〒607-8179 京都市山科区大宅御所田町115-1  
TEL.075-575-5252 FAX.075-575-5055

#### 京都市 大宅 地域包括支援センター

#### 高齢サポート・大宅 ※☆

〒607-8179 京都市山科区大宅御所田町115-1  
TEL.075-572-6660 FAX.075-575-5055

#### 特別養護老人ホーム 加茂の里 ※☆

#### ケアハウス あじさい ※☆

#### デイサービスセンター 加茂の里 ※☆

〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東四丁目1番地3(JR加茂駅前)  
TEL.0774-76-7607 FAX.0774-76-7802

#### 訪問看護ステーション あじさい ※☆

〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東四丁目1番地3(JR加茂駅前)  
TEL.0774-76-0234 FAX.0774-76-7802

#### 訪問介護ステーション 加茂の里 ※☆

〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東二丁目2番地1 ユニ加茂寺番館(JR加茂駅前)  
TEL.0774-76-0233 FAX.0774-76-8461

#### 木津川市地域包括支援センター加茂

〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東2-2-1 ユニ加茂寺番館  
TEL.0774-76-8294 FAX.0774-76-8461

#### 城陽市立東部デイサービスセンター ※☆

〒610-0102 京都府城陽市久世堂ヶ原6番地の2  
TEL.0774-56-2530 FAX.0774-56-2531

#### 三条小川デイサービスセンター ※☆

〒604-8246 京都市中京区小川通三条下ル狸ヶ町124  
TEL.075-254-1106 FAX.075-254-1107

### 社会福祉法人 悠仁福祉会

#### 特別養護老人ホーム ヴィラ鳳凰 ※☆

#### ケアハウスやまぶき ※☆

#### デイサービスセンターヴィラ鳳凰 ※☆

〒611-0021 京都府宇治市宇治里尻36-35  
TEL.0774-25-2577 FAX.0774-25-2788

#### グループホーム鳳凰槇島 ※☆

#### 複合型施設鳳凰槇島 ※☆

〒611-0041 京都府宇治市槇島町大川原35-5  
TEL.0774-25-2050 FAX.0774-25-2160

#### 訪問看護ステーションふくろう ※☆

〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄戸ノ内19-1  
TEL.0774-94-6068(訪問看護)  
TEL.0774-94-6067(訪問介護)  
FAX.0774-94-6069

|                                                                      |    |
|----------------------------------------------------------------------|----|
| 高齢者人口のピークとその先にある人口減<br>医療・介護制度の構造変化に流されず<br>確として地域を支えるあり方を追求する／武田 隆久 | 02 |
| これからの病院 病院の格とは／武田 道子                                                 | 04 |
| 玉石混淆／武田 隆司                                                           | 06 |
| 「配慮」を欠かさない寛容で明るい社会へ／武田 隆男                                            | 08 |
| 武田病院グループの機能と役割                                                       | 10 |
| たけだインフォメーションニュース                                                     | 14 |
| キッチン探訪<br>上手に食材を組み合わせてより健康に!!／白井 裕基                                  | 18 |
| ケアアドバイス<br>高齢者の社会参加について／市川 努                                         | 19 |
| ワンポイントフィットネス<br>簡単!屋内での健康づくり ~ステップ運動のススメ~／鈴木 喜也                      | 20 |
| くすりのお話<br>ご存知ですか?「ポリファーマシー」／林 千麗                                     | 21 |
| ナーシングメッセージ<br>第8回 武田病院グループ 看護研究発表会<br>地域包括ケア時代へ22題の多彩な研究             | 22 |
| 法話／醍醐寺座主 仲田順和(じゅんな)師                                                 | 24 |

# たけだ

たけだ通信

No.111

March 2017



今号の表紙「天橋立」



## 経営理念

### 思いやりの心

私たちは常に思いやりの心もち 患者さんに信頼される病院でありたい

私たちは人々の生命の尊厳に対する希求  
健康への願いに対するニーズに応え  
地域社会に信頼される病院でありたい

私たちはお互いに尊敬と協調の心もち  
職員相互が信頼しあう病院でありたい

## 基本方針

### Bridge The Gaps

「ブリッジ・ザ・ギャップス(橋をかけよう)」

武田病院グループは  
患者さんとの間に思いやりと信頼のかけ橋を  
地域社会との間に信義と信頼のかけ橋を  
すべての職員の間心と心をつなぐ  
信頼のかけ橋をつくりあげる  
努力を重ねます

### 患者さんの権利の尊重

私たちは  
患者さんの意見・立場を大切にし  
インフォームド・コンセントを  
尊重します

### 地球にやさしい環境づくり

武田病院グループは地球環境の保全を  
保健・医療・福祉活動  
及び関連活動で常に考慮し  
地球にやさしい、心がかよう、心が安らぐ  
豊かな社会環境の実現に貢献します

## 信頼の医療に向けて

私たちは、医療とは患者さんとの「信頼と意思疎通」を原点としていることを深く認識し、  
患者さんにより良い医療を受けていただけるように日々努力を重ねるとともに、次の項目を守り、  
患者さんの健康管理・治療・療養等にチーム医療で支援します。

#### ①患者さんの人格・価値観を尊重します。

患者さんが治療や検査等を受けるにあたり、ひとりひとりの人格・価値観を尊重し、  
相互の信頼・協力関係の下で医療を行います。

#### ②良質な医療を平等に提供します。

すべての患者さんに対して、良質な医療を平等に、そして、継続的に提供します。

#### ③患者さんの立場に立ってわかりやすく説明をします。

治療や検査等についての説明や情報の提供に際しては、正確に伝えるだけで  
はなく、患者さんの立場に立ってわかりやすい説明と良好な意思疎通を行って、  
理解と合意を得られるように努めます。

#### ④患者さんの意思を尊重します。

治療や検査等に際し、十分な情報提供と意思疎通を行った上で、相互の信頼・  
協力関係の下、治療方法等の選択について、患者さんの意思を最大限尊重し  
ます。

#### ⑤個人情報・プライバシーを厳守します。

患者さんの個人情報やプライバシーは厳格に保護します。

「患者さんの権利の尊重」展開 03.07.01

## ISO14001自己宣言書

武田病院グループの環境マネジメントシステムがISO14001の規格に適合していることについて自らの責任で決定し、ここに自己宣言します。

武田病院グループは、地球環境保全を保健・医療・福祉活動及び関連活動で常に意識し、  
グループの果たすべき重要な課題として捉え、今後も尚一層積極的に環境活動を推進します。

08.12.15 武田病院グループ  
理事長 武田 隆久

## 環境方針

私たちのまち京都は、千余年に及ぶ長い歴史の中で特色のある伝統・文化をはぐくみ、  
歴史と文化の香り高い独自の環境を形成し自然との共生の中で伝統と創造のまちとして発展してきました。  
武田病院グループは京都で活動する意義と責務を深く認識し、地球環境保全を保健・医療・福祉活動及び関連活動で常に考慮し、  
地球にやさしい、心がかよう、心が安らぐ豊かな社会環境の実現に貢献します。  
また、関連する法的要求事項、自己公約を遵守するとともに関連団体における環境理念等を尊重し、  
気候変動の緩和に適応した低炭素化社会の形成、医療・保健材料の省資源化、再生化を考慮した資源循環型社会の発展に貢献します。  
私たち、一人ひとりが適切な保健・医療・福祉の提供の中で環境の有限性を深く認識し、組織的に継続的な改善を目指した環境マネジメントシステムの運用をはかります。

#### ①省資源・省エネルギーの推進

保健・医療・福祉活動及び関連活動における消耗品の省資源化、再生化を図り、  
資源循環型社会の形成を推進します。  
再生可能なエネルギーの導入、省エネルギーの推進により二酸化炭素の排出を抑え、  
低炭素化社会の形成を推進します。

#### ②廃棄物の3R(減らす、再使用、再資源化)の推進

保健・医療・福祉活動及び関連活動によって発生する廃棄物の3Rを推進します。  
購入段階から再使用、再資源化可能な材料等を取り入れ、廃棄物の減量化を図ります。  
また、医療廃棄物の安全処理・廃棄については、厳重に管理します。

#### ③安全性・快適性の推進

自然災害・人災等に対応した地域社会との連携、施設の保健・医療・福祉活動の  
継続的改善を図り、医療消耗品、薬品、食料の備蓄、エネルギー供給の多重化等  
を含む安全確保、及び事業活動による汚染の予防と施設環境の改善、快適性を推  
進します。

#### ④環境広報活動の推進

環境方針・目的の全職員への周知徹底及び施設利用者、地域社会、利害関係者等  
とのコミュニケーションを目的とした情報提供、環境広報活動を推進します。

環境方針書No3 17.01.20 武田病院グループ  
理事長 武田 隆久

# 高齢者人口のピークとその先にある人口減 医療・介護制度の構造変化に流されず 確として地域を支えるあり方を追求する

連日のように語られる社会保障費の高騰。なかでも高齢化で増大する医療・介護の費用にどう対応するかが大きな課題となつています。いま、国も地方も病院（病床）の再配分と地域包括ケアシステムの確立にやっきになっていますが、それ以降の人口予測を見れば、また新たな再配分に迫られることは間違いないでしょう。今回は、人口密集部から地方部まで医療・介護を提供する武田病院グループの立場から、これからの地域に求められる法人のあり方についてお話しを致します。



武田病院グループ 理事長

武田 隆久

## 進行する過疎高齢化に備え 地方を支えるネットワークを

1月の月報（総務省統計局）によると日本の総人口は1億2686万人で、前年に比べ17万人も減少しています。この数値は国立社会保障・人口問題研究所が2013年にまとめた将来推計とほぼ合致し、このまま進めば2025年時点で740万人が減少（2010年基準）、2040年にはさらに加えて1338万人が減少する恐れがあります。

京都府を見れば2040年時点での人口減はおよそ41万人。減少率はほぼ全国平均値ですが、高齢者人口は増加を続け、2010年ベースで考えると実に31.2%も上昇し、80万9000人となることが推計されています。中心部に人

が集まり、地方部の人口減・高齢化が加速することは予想に難くないため、支え手の人口が減少する地方部のセーフティネットをどう維持していくかが大きな課題だと感じます。実際、京都府南端の木津川市、北部の宮津市でサービス提供する当グループでは既に対応している問題であり、今後の深刻化を前に隣接地域の関係者とも協力して支え手のネットワークを強化していく考えです。

## 連携重視の医療へ 豊かな人間性をかん養

こうした人口変化を前提とし、国全体の医療等提供体制を維持するために進められているのが「地域医療構想」と「地域包括ケアシステムの推進」です。

地域医療構想は、端的に言えば医療機関（病床）の機能を需要に合ったバランスに再配分する計画です。これまで、生命の危機に対応する「高度急性期医療」を提供する医療機関（病床）が多い傾向にあったのですが、これを徐々に減少させて、その後の医療を担う「急性期」「回復期」「療養・在宅」を適正量にするというものです。

単純に再配分すれば良いというものではなく、同時に「効率化」を進めることで、医療費のスリム化を図ろうとしています。とくに、「療養・在宅」については、従来、医療機関が担っていた範囲を介護・福祉の領域まで広げることが必要になってくるでしょう。これは医療機関だけでなく、自治体関係者や民生委員の方など、様々な関係者が連携して支える「地域包括ケアシステム」の構築にも関わってきます。

こうなると、人対人の関係性が極めて

重要となつてきます。これまで医療機関が重視してきた「資格における技能」や「学術的な専門性」だけでなく、「コミュニケーション力や人としての感受性など」「豊かな人間性」が欠かせないの言うまでもありません。

冒頭でも申しましたが、国の施策はいささか「施設・資格者」の配置と「費用の帳尻」を合わせることに目が奪われ過ぎていっていると感じます。計画においても、人間性を養うことや、人を大切にする視点がなければ画餅に終わることになりかねません。私どもは注意を喚起し、また自らも血が通う組織づくりにまい進したいと考えております。

## 継ぎ目のない支援を実現する 認知症総合センターを開設

医療・介護の課題は将来に備えることばかりではありません。いま目の前で

お困りの方に、どう対応していくか、医療者としての基本を大切にしなければなりません。

時には制度そのものが「障壁」となってしまう、個々の医療や介護サービスが上手くつながらないこともあります。

例えば、高齢になつて認知症を発症するケースでは、初期の発見と対応、医療的な治療、在宅での支援、施設サービスでの支援といった様々な支えが考えられます。一見、これらは独立したステージのように分類できますが、患者さんの暮らしかや症状（お困りごと）の視点に立つとステージの区切れなどは存在しません。

そこで当グループでは、I医療支援機能、II初期支援機能、III在宅支援機能、IV施設機能を一体的に提供する「認知症総合センター」を府内初の取り組みとして行います。

開設するのは宇治市にあるヴィラ鳳凰（社会福祉法人悠仁福祉会）で、既存の特別養護老人ホームも活用します。特養は認知症の方優先へと方針をシフトし、認知症外来・訪問診療と常設型の認知症カフェを備えた新施設を開設します。2018年度には、認知症対応型デイサービスやグループホームの開設も予定しています。この4つの機能と、隣接するヴィラ鳳凰、宇治武田病院が有機的につながること、継ぎ目のない支援ができるものと期待しています。



## 乳腺クリニック児玉外科 武田病院グループへ

また、医療の質・量を高めることも重要です。このたび、乳腺クリニック児玉外科が当グループに加わりました。全国で初めて乳腺専門の医療機関として京都に誕生し、乳房温存手術の歴史を切り開くなど、日本の乳がん治療をリードしてきたクリニックです。乳がんは術後も長期にわたりチェックが必要な疾患です。長い付き合いになりますので、温もりを感じるアットホームな施設で健康管理をさせて頂く考えです。

今後も当グループでは、増大する様々な医療ニーズに応えるとともに、地域の皆さんのパートナーとして一緒に歩んでまいります。ご指導、ご鞭撻を宜しくお願い致します。



乳腺クリニック児玉外科



「認知症総合センター」を併設予定のヴィラ鳳凰

## これからの病院

## 病院の格とは

国民皆保険で注目されて居りますわが国は、常に世界一の長寿国を保って居りましたが、ここに来て少しあやしくなつてまいりました。

政府は消費税のひき上げ分を介護保険に当てると云つて居りましたが、増税が中止されたことにより財源がなくなつてしまいました。

今後、介護の軸足は家庭へと云うことになり、老々介護をしいられるところもあり、共倒れになったり、仕事を辞めることになったり、介護死と云う悲しい例も出てまいりました。

り不吉な感じがいたします。我々の家でも部屋の中がきれいに片付いています。改めて見直すようなこともあるでしょう。私は朝、玄関に出すプリンターや鉢植えをきちんと真直に並べないと気が済みません。

さて、病院経営の根幹は良質な医療の提供とインフォームドコンセントであり、激変する医療環境の中で、今こそ病院の存亡をかけ、医療人たることを自覚し、力を発揮する時だと思ひます。徹底したデータの分析によって自院の強みを把握し、より専門性を深め、質の高い医療を提供出来る病院をめざした取り組みを強化して行くこと、そして、各々の病院はこれだけどこにも負けないという特化したものを持つことです。長くコツコツと築いて来たよい評判でも、1日にして悪い評判に変わると云うことを自覚して欲しいと思います。自分1人くらい違う考え方

介護保険はきびしくなり、要支援では、介護サービスが受けられなくなる方が増加してまいりました。又、入院して居ても、いつ迄も同じ病院に居られず、遠くへ移動させられることもあり、折角、落ちついたところでと思つて居られるお年寄りが、全く知らない病院へ移されることもあります。この様なことが続くと、世界一長寿国日本もころげ落ちてしまうかも知れません。この様になりますと、お年寄りは精神的に不安になってまいります。

病院は地元先生から信頼され、地でもよい、などと云う考え方の人が居れば、真直に進んで居る船は微妙に方向を変える結果となってまいります。医療運営は、よい医療と経営の両輪であることを職員の皆さんが理解して下さる必要があります。過去、現在、未来に於ける病院のミッション、ビジョンを共有し、職員の皆さんが同じ目標に向つて行くことが大切です。

環境に適応出来たものが生き残ることが出来る。と云うダーウインの言葉があります。ひとり勝手な行動は駄目だと云うことです。思いやりの心、人の手のぬくもりを感じてもらえるように、これは患者さんの安心の心につながります。患者さんからは、医師の説明がよくわからない、顔を見て話してくれない、と云う苦情がよくあります。電子カルテ時代になり、仕方が無いと云つてしまえばそうかも知れませんが、予約制といつても待ち時間が長い



武田病院グループ 副理事長  
康生会武田病院 名誉院長  
社会福祉法人 青谷福祉会 理事長

武田 道子

元の皆さんから選ばれるようであればなりません。不安な気持ちで病院の門をくぐつて来られる患者さんは、ちよつとしたことにも気になられるものです。病院へ入ってきた際、病院の壁に貼られた注意書などがバラバラだったりすると気になるものです。几帳面に真直に貼られていないだけでも、この病院は大丈夫かしらと案じる人もあると思います。掲示物は左右上下一定の間隔に貼つてあれば安心し、病院の格が上ります。傾いていたりすると不安になります。傾くというのは、やは

も仕方がありません。スタッフに求められているのはやはり分かりやすい説明と気配り、思いやり、ねぎらいの言葉、励ましの言葉、いたわりの言葉につきると思います。患者さんにとって安心と信頼を感じていただけるように努めたいと思います。気をゆるめることなく、行動をゆるめることなく高い志をもって、地元の皆さんの役に立つようになることが、最終のゴールです。





## 玉石混淆

武田病院グループ 専務理事  
医療法人財団 康生会 理事長

武田 隆司



昨年末に突然「WELQ(ウェルク)」なるサイトが話題になった。

ネットオークション・ショッピングサイト・モバイルゲームなどで躍進し、会社設立後わずか十数年でプロ野球球団の横浜ベイスターズを買収するまでに成長した新進気鋭のDeNAが運営するサイトだ。

個人的には聞いたこともないサイトだったので調べてみると、健康や医療についてまとめる、所謂「キュレーションメディア」に属するものであった。

「キュレーションメディア」とは、美術館や博物館を企画するキュレーターから派生した造語で、膨大なインターネット情報の中から必要な情報を正確に引用して分かりやすくまとめたものを指す。

私もこうしたサイトはたまに覗くのだが、こと「健康や医療」についてはほぼ信用していないので出会う機会がなかったようだ。

騒動のきっかけは、「死にたい」というワードをGoogle検索すると、なぜか常にトップ表示されるのがWELQであることが10月に報道されたことに端を発する。

もちろん自殺の予防に本気で取り組んでいる団体は沢山あるので、それが有意義なものならば問題はない。

(そうした努力の甲斐もあってか、日本の年間自殺者数は2003年の3万4千人をピークに年々減少しており2012年以後は3万人を下回っている。20

16年は過去最低水準の2万1764人であった。)

しかしながらこのサイトでは「死にたいと思った時に試してほしい7つの対処法」という記事から進んで行くと、いつの間にか転職サイトのアフィリエイト広告に入ってしまう手法が取られていた。

アフィリエイト広告による報酬の仕組みは、ネット記事から誘導した広告へのクリック数に応じて誘導元に報酬が支払われるというものだ。

「PPAP」のピコ太郎が大儲けしているという噂は、YouTubeからのアフィリエイト広告収入から推測されるものである。

これは「検索エンジン対策(SEO)の悪用ではないか?」という議論が沸き立った結果、12月7日にDeNAは記者会見を開きWELQを非公開(実質閉鎖)とする運びになった。

また、他の記事の内容もおおよそ「健康や医療」について深く考えるものではなく、「どこのラーメンで風邪が治る」とか「肩凝りは幽霊のせいだ」などよくまあという内容が多かったようだ。

「水素水」「ホメオパシー」なども、ご多分に洩れず特集されていたと聞く。

余談だが、大ヒットしているグルコサミンやコンドロイチンなどのサプリメントは、消化管で吸収される際に糖とアミノ酸に分解される。

それが関節軟骨の辺りで急に思い出して元のグルコ

サミンやコンドロイチンに戻るとはあり得ない。ただしプラセボ効果は期待できるので、効果があると思う方はお続けください。

どんどん話が脱線して申し訳ないが、サプリメントや化粧品の広告には薬事法に触れてはいけないという大原則があり、一定のガイドラインが設けられている。

ざっくり言うと「疾病治療や予防」を謳うことは違反だが、「健康や美容の維持・増進」ならばまあOKという感じだ。

そういう観点でCMを見てみると、具体的な効用には触れずに「程良い軽めの脅迫文句」を含んでいる点が共通項であることに気づいてなかなか面白い。

水素水に関しては、私は最初からただの水としか思えなかったのだが、販売シェアトップの「伊藤園」も疑惑に関する取材を受けて正直に答えている。それによると「水素水とは水素分子が溶け込んだ水のことであり、水素は開封と同時に空気中に抜けていく。従ってこれは健康効果を標榜するものではなく水分補給の選択肢として販売している」というものだ。わかりやすく言えば「高価だけど普通の水ですよ」という意味だ。

ただしこちらもプラセボ効果は期待できるし、もちろんただの水なので身体には益もないが害もない。水素水のブームに関しては、なぜか讃称する女性芸能人が多かったのが要因なのだろう。(極め付けは派手婚の引き出物だが)

ところで今回の騒動はどこに問題があったのだろうか? まず先述したようにキュレーションメディアの目的は、読む側に「本来は難解な情報」を噛み砕いて分かりやすく伝えるというものである。

しかしながら「肩凝りは幽霊のせい」という話題一つを見ても、記事の担当者が真剣な思いでこれに向き合っているとは到底考えられない。

特に医療に関する情報は繊細であらねばならない。本来、体験談を除けば医療情報を発信する側は医療者あるいは医療教育を学んだ者などに限定

すべきで、自己の発言(記事)には責任を持たねばならず、当然匿名投稿をして良い分野ではない。

キュレーションという文化の普及には様々なメリットがあるが、こうした最低限のルールを無邪気に飛び超えるキッカケとなったことは残念ながら事実だろう。

これは何もWeb内だけの出来事ではない。最近急増している週刊誌の「健診を受けてはいけない」「飲んでる薬はすぐ捨てなさい」など、あたかも医療は百害あって一利なしという印象を植え付ける記事は、インパクトがあるのでしばしば使われているが、余りにくどくて目に余る。小泉政権が医療費抑制に邁進した頃と同じ手法であり、医療崩壊という悪夢再現への序章としないことを祈るばかりだ。

そもそも、本当に健診を受けなかったために本来は防げたはずの病状が気づいた時には既に進行していた場合。本当に薬を捨ててしまっ取り返しのつかないことになった場合。記事を書いた人は責任を取る覚悟があるのだろうか? そんなはずはない。

今回の騒動で肝に銘じなければいけないことは、Web内の情報とは実に玉石混淆であるということだ。

アメリカではこうした問題に対処すべくHON(Health On Net Foundation)コードというガイドラインが制作され、この認証を受けたサイトこそが信頼性の高い健康・医療情報を発信するサイトであるというコンセンサスが得られている。内容は割愛するが、今回の騒動を鑑みるに非常に感銘を受ける内容であり是非日本でも導入されることを望む。

インターネットの普及は、私達に情報の無料化という素晴らしい恩恵を享受させてくれた。

ただし、その恩恵の引き換えが思考力の低下ということにならないように常に注意が必要だ。

# 「配慮」を欠かさない 寛容で明るい社会へ

この冬の寒波は厳しいものでした。鳥取では300台以上の自動車が立ち往生し、自衛隊が救援出動しました。京都でも北部を中心に大雪に見舞われ山陰線は運休。最高では94cmもの積雪があつたそうです。とりわけ問題になつたのは透析の患者さんです。大雪で医療施設に行くことができず、透析が受けられない事態となりました。当グループも山間部で、通院が困難な高齢の透析患者さんを宮津武田病院のスタッフがお迎えにいく取り組みを行つています。こうした災害時だけでなく、平時から支え合いの輪を広げていくことが重要だと思ひます。

家族の目指す治療目標に応じて薬物の適用と優先順位を判断し、必要な薬物を選択し、優先度が低い薬剤は中止を考慮する。

代替手段が存在する限り薬物療法は避け、まず非薬物療法を試みるべきである。全ての薬物（ビタミンや漢方薬、OTCなども含む）をお薬手帳などを用いて把握し、併用薬が不明な場合、原則的に新たな処方へ避ける。薬物動態や薬力学の加齢変化、生活環境の変化によつて、薬物が不要になる場合がある事を理解し、定期的に必要性を見直すべきである。

「考慮する」「避ける」など、細心の注意が必要だと喚起を促しています。高齢の入院患者さんの3〜6%は薬剤起因性とされており、長期入院の要因ともなるからです。

もちろん、高齢者の治療は「処方量」だけが重要なではありません。若い世代の方とは、疾患に対する心身の抵

さて、医療では高齢者を専門領域とする「老年医学」という分野があります。小児の医療が「小児医学、小児医療」として専門領域となつているのと同様、高齢者の医療もまた専門性が必要なのです。これは、年齢を重ねることによる生理的な変化や、多数の疾患を抱えていることが多いため、通常の成人医療の診療ガイドラインに沿って治療すると、必ずしも良好とはならないからです。また、老化の進行具合は人によつて本当に大きな違いがあります。身体面だけでなく、精神面や社会生活の面など、取り巻く環境の違いも大きいため、治療による影響には十分な注意と配慮が必要です。

抗力が全く異なることが挙げられます。実は私も昨年末に調子を崩しました。若い頃とは異なり、体調が崩れると気力までなくなつてしまいます。こうなると、治療そのものを「しんどい」と感じるのももなりません。あらためて医療者の方々には、数値に目を向けるだけでなく、こうした「感じ方の違い」がとても重要であることを理解して欲しいと思ひます。気持ちに配慮した血の通う医療の徹底ですね。

来年度は、「国民健康保険の財政都道府県単位化」「新たな医療費適正化計画」「診療報酬改定」「介護報酬改定」が集中するため、厚生労働省はこうした状況を「惑星直列」と言つていらっしゃるそうです。なんともインパクトのあるような感じます。しかし同時に様々な「効率化」を進めるものでもあり、患者さんへの「配慮」がどれだけなされるのか注視していかなければなりません。決して切り捨てにつながることはないよう、血の通う制度改革に



武田病院グループ会長

武田 隆男

高齢者の医療で特に問題となるのは「お薬」による影響です。若い方向けの分量を処方すると、多すぎて有害になるケースが少なくありません。日本老年医学会等が作成したガイドラインを見てみましょう。

若年者対象の診療ガイドラインの適用により必ずしも良好な結果が得られないため、疾患や症状毎に薬物療法を行う考え方は必ずしも適切でない。個々の患者の疾患や重症度、臓器機能、身体機能・認知機能・日常生活機能、家庭環境を総合的に考慮し、患者と

つなげて頂きたいものです。

若い世代の方を中心に、色々と辛口なことを申しましたが、「若者を非難するのは、年寄りの健康に欠かせぬ要素であり、血行を良くするのにとっても役立つ」との名言（迷言？）もあります。こうした言葉を笑つて受け入れられる、若者にもお年寄りにも寛容で明るい社会であればと願う次第です。



武田病院グループは地域医療構想に対応した機能分化と医療の質の向上をめざしています

私たちは常に思いやりの心を持ち 信頼される病院グループでありたい

## 医療密度が極めて高い医療を提供

### 高度急性期

ICU(集中治療室)、CCU(冠疾患集中治療室)、SCU(脳卒中集中治療室)、HCU(準集中治療室)で実施するような重症者に対する治療を行います

## 状態の安定化に向けた医療を提供

### 急性期

症状・徴候の発現が急激で生命の危機状態にある時期です  
病気やけがによる症状が急激に現れ、全身管理を必要とします

## リハビリテーションを集中的に提供

### 回復期

生命の危機状態から脱し、症状が安定に向かっている時期です  
機能障害の程度に応じた日常生活・社会生活に適応を促します

## 長期にわたる療養等の医療を提供

### 慢性期

症状・徴候は激しくないが治癒することが困難な状態が長期間にわたって持続する時期です  
長期間の管理、観察、あるいは治療、看護が必要とされます

|                                                |                                                              |                                                   |                                              |                                                                      |
|------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| <b>木津屋橋武田病院</b><br><b>111床</b><br>介護療養<br>訪問診療 | <b>稲荷山武田病院</b><br><b>55床</b><br>障害施設等<br>訪問診療 緩和ケア<br>訪問リハビリ | <b>宮津武田病院</b><br><b>65床</b><br>障害施設等<br>健診 透析 20床 | <b>北山武田病院</b><br><b>60床</b><br>障害施設等<br>訪問診療 | <b>救急</b><br>精華町<br>国民健康保険病院<br><b>50床</b><br>障害施設等<br>訪問リハビリ 透析 20床 |
|------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|

初期症状の急患、外来、健康相談、健診などのプライマリーケアに対応します

|              |                                                                                               |                                                                                                |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>高度急性期</b> | <b>救急</b><br>医仁会武田総合病院<br>ICU CCU HCU SCU<br><b>500床</b><br>地域包括ケア病棟 60床<br>健診 透析 10床         | <b>救急</b><br>武田病院<br>ICU CCU HCU SCU<br><b>300床</b><br>地域包括ケア病棟 50床<br>画像診断センター (PET検査) 透析 20床 |
| <b>急性期</b>   | <b>救急</b><br>宇治武田病院<br><b>177床</b><br>地域包括ケア病棟 8床<br>健診 透析 50床<br>訪問リハビリ                      | 武田病院<br>地域包括ケア病棟 50床<br>透析 20床                                                                 |
| <b>回復期</b>   | <b>救急</b><br>十条武田<br>リハビリテーション病院<br><b>182床</b><br>回復期リハ病棟 100床<br>障害者病棟 43床<br>訪問リハビリ 透析 20床 |                                                                                                |
| <b>慢性期</b>   |                                                                                               |                                                                                                |

武田病院、医仁会武田総合病院、宇治武田病院、十条武田リハビリテーション病院の4施設に地域医療連携室を設置しています。  
中核病院として、地域の病院やかかりつけ医である開業医の先生方、福祉関連事業所のご担当者と連携を図り、良質な医療を提供し地域医療に貢献していくための対応窓口として地域医療連携室は機能しています。

また、武田病院、医仁会武田総合病院、宇治武田病院には地域包括ケア病棟があります。病状が安定した患者さんが治療を継続し、リハビリテーションを行うことで、スムーズな退院につなげます。

## 診療所 健診

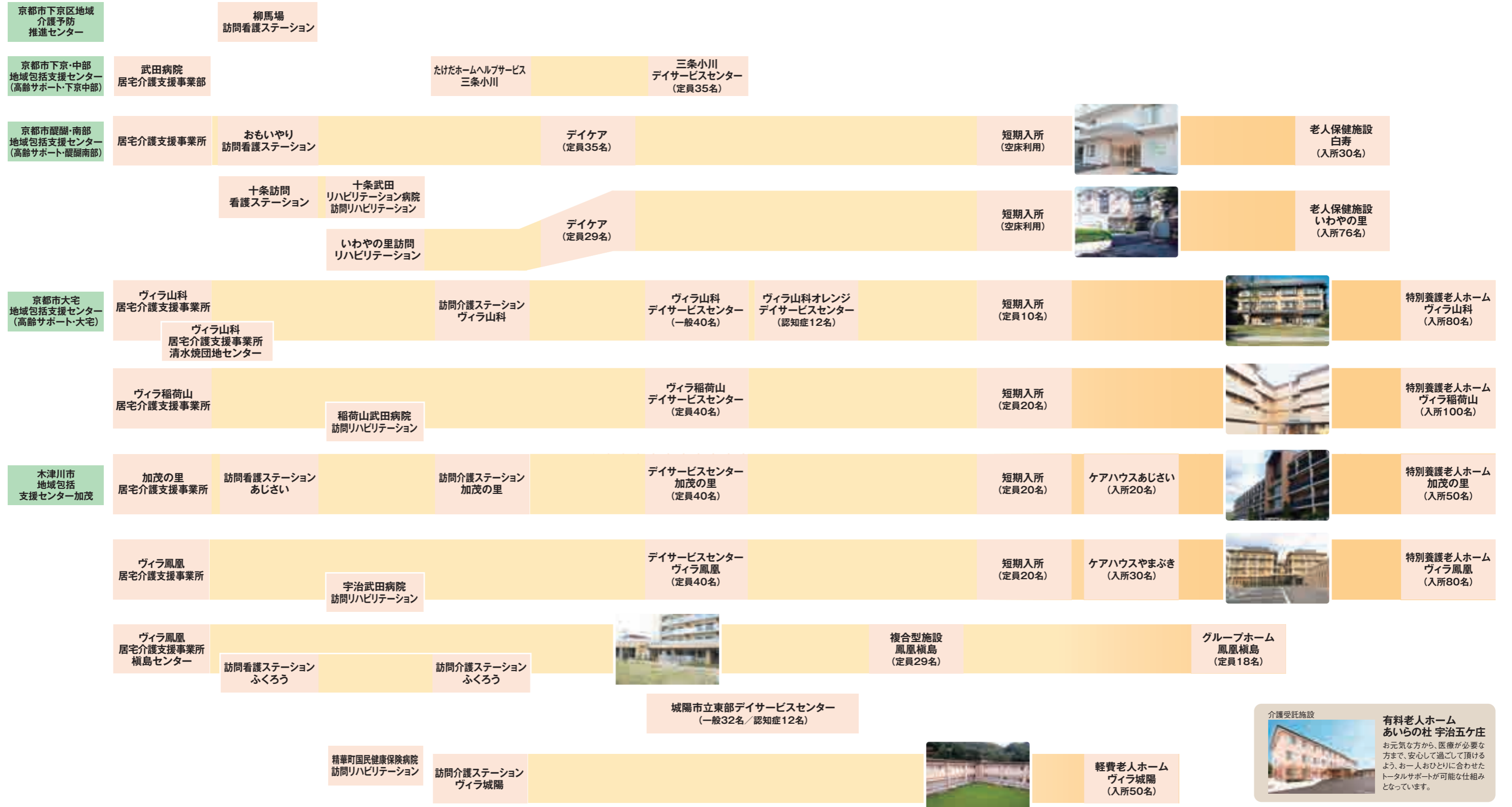
幅広い医療の提供によって、地域住民の方々の健康的な暮らしを支えるホームドクターです。  
健診部門では、高度・最新医療技術の人間ドック・健康診断で健康をサポートしています。

|          |       |                 |          |            |                         |
|----------|-------|-----------------|----------|------------|-------------------------|
| 京都壬生苑診療所 | 辰巳診療所 | 乳腺クリニック<br>児玉外科 | 康生会クリニック | 柳馬場武田クリニック | たけだ診療所<br>(免疫・遺伝子クリニック) |
|----------|-------|-----------------|----------|------------|-------------------------|

## 診療所 健診

|                    |                       |                   |                               |            |
|--------------------|-----------------------|-------------------|-------------------------------|------------|
| 梶井町放射線診断科<br>クリニック | 武田クリニック<br>(血液透析センター) | 京都駅前<br>武田透析クリニック | 山科武田ラクトクリニック<br>山科武田ラクト健診センター | 武田病院健診センター |
|--------------------|-----------------------|-------------------|-------------------------------|------------|

私たちは常に思いやりの心を持ち 信頼される病院グループでありたい



## 公的サービス 在宅サービス 入所(入居)サービス

- 地域包括支援センター**  
市町村が主体となり、地域の高齢者が要支援・要介護状態になることを防ぐ介護予防ケアマネジメントを行う自立支援の拠点です。
- 地域介護予防推進センター**  
要支援・要介護状態となるおそれのある高齢者等に各種介護予防事業を提供するため、京都市が委託運営する公的機関です。
- 居宅介護支援事業所**  
介護支援専門員(ケアマネジャー)が、利用者さんのご自宅を訪問。心身の状態や生活状況を把握し(アセスメント)、ケアプランを作成します。適切なサービスが提供されるよう事業者を調整・仲介するパイプ役となり、継続的に状況を評価・管理していきます。
- 訪問看護**  
当グループの訪問看護ステーションでは、専門技術に優れたベテランの看護師がご家庭を訪問し、主に在宅療養の指導、医師の指示に基づく医療処置、リハビリテーションや介護相談などに応じています。小児看護やターミナル(終末期)看護にも力を入れております。
- 訪問リハビリテーション**  
居宅で生活されている方が、その能力に応じて自立した生活が継続できるように、医師の指示に基づき、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がご自宅を訪問し、専門的なリハビリテーションを提供するサービスです。
- 訪問介護**  
要介護または要支援の認定を受けた方が、居宅で介護を受けることのできるサービス。日常生活を送る上で基本となる食事や入浴、排泄はもとより、通院や買い物など外出の付き添いや洗濯など、ケアプランに基づいたサービスを提供します。
- 通所リハビリテーション(デイケア)**  
認知症や脳血管疾患による運動障害のある在宅の高齢者等が、心身機能の維持・回復のために必要なりハビリテーションを医師の指示に基づき、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が行います。
- 通所介護(デイサービス)**  
要介護および要支援の認定を受けられた在宅高齢者を対象に、施設に昼間来ていただき、入浴やお食事、レクリエーションや機能訓練などのサービスを提供します。
- 認知症対応型通所介護**  
要介護等の状態となった認知症のご利用者が、可能な限り、居宅において生活を継続できるよう、機能訓練等を実施し、生活などに関する相談・助言を行います。施設で入浴・食事を提供し家族の負担軽減も図ります。
- 看護小規模多機能型居宅介護**  
小規模多機能型居宅介護(泊まり、通い、訪問)に看護サービスを組み合わせた地域密着型サービスです。要介護度が高く(1以上が対象)、医療的なケアを必要とする人が、住み慣れた家や地域で安心して生活するサポートを行います。
- 短期入所(ショートステイ)**  
ショートステイは、介護を必要とされる方を短期間受け入れ、日常生活上の支援や機能訓練などを提供する事で、自宅にこもりきりの孤立感の解消や心身機能の維持回復だけでなく、家族の介護の負担軽減を図るためのサービスです。
- ケアハウス(軽費老人ホームA型)**  
60歳以上(夫婦で入居する場合はどちらかが60歳以上)で、自炊ができない程度の身体機能の低下があるか、高齢のため自立して生活するには不安があり、家族による援助を受けるのが困難な方が入居の対象です。
- グループホーム(認知症対応型共同生活介護)**  
認知症と診断された要介護の方に入居していただき、家庭的な環境と地域住民との交流のもとで食事や入浴などの日常生活上の支援などのサービスを行います。
- 介護老人保健施設(特別養護老人ホーム)**  
看護やリハビリテーションなどが必要とする要介護1~5の高齢者が対象で、可能な限り自立した日常生活ができるよう生活機能の維持・向上を目指すなど、総合的に援助した在宅復帰を目指す施設です。
- 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)**  
要介護3~5に認定された方に対し、施設介護サービス計画に基づいて入浴・排泄・食事等の介護、日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行う施設です。



## 医療法人 財団 康生会 北山武田病院

## ビューティフル・ライフの実現が私たちの「願い」であり「祈り」

医療への社会ニーズは、最近、とみにめまぐるしい変転を繰り返しています。高齢化の著しい今、訪問診療の需要はますます増大しています。前任地で積極的に実施して参りました訪問診療を当院におきましても積極的に取り組み、歯科の訪問歯科診療とジョイントした形で利便性豊かなものにして参りたいと思います。美容部門も美容皮膚科と連携し活発な活動を行って参りましたが、今後も、さらなる充実をはかりたいと考えております。

大きな社会的変容が生じるであろうといわれる2025年を前に、これから私達に問いかねられるのは、単に「医療」や「介護」を提供するだけではなく、人が生きていく上での幸福感や充実感の追求ではないかと考えます。

人は常に老いていきます。「健康ライフ」のかけ声だけ勇ましくても、「生老病死」の「四苦」を避けては通れません。むしろ、老いていきつつも、日々、美しくあり、価値ある思い出を積み重ね、「病」の中にも「暮らし」の充実や生きていることの「喜び」を実感することのできる「ビューティフル・ライフ」の実現こそ、私達が、誠心誠意、お手伝いするべきではないかと思っております。それが私たちの「願い」であり「祈り」です。職員一同、さらなる精進を続けて参ります。



院長 橋本 恵

## &lt;プロフィール&gt;

昭和55年、京都大学医学部卒業。兵庫県立柏原病院内科、大津赤十字病院循環器科を経て、62年に医療法人医仁会武田総合病院に勤務。同年、国立循環器病センター内科循環器部門医員、厚生技官に就任。平成6年、京都大学医学部文部教官講師に就任。7年、木津屋橋武田病院院長に就任。28年10月より現職。日本心臓病学会特別会員、日本循環器学会認定循環器専門医、日本内科学会認定内科医、日本医師会認定産業医

## 木津屋橋武田病院

## 「困った患者さんを良くしたい」という思いでまい進します

木津屋橋武田病院の院長に就任した若林詔です。平成元年から武田病院グループで康生会武田病院や十条武田リハビリテーション病院で整形外科を担当してきました。ここ10年ほどは、当院の夜診も週一で対応しており、実は良く知った病院です。専門は脊椎外科ですが、これまで一貫して整形外科領域全般の治療に従事してまいりました。当院では、リハビリテーション科に加え整形外科外来を開設し、内科の先生と連携して外来診療や病棟管理を行っていく考えです。また、一時休止していた訪問診療を再開するなど、地域の皆さんのお役に立てるよう努力してまいり所存です。

当院が担う病棟は、長期に渡り医療的なケアが必要な患者さんが療養する介護療養病床です。高齢になると様々な

疾患を抱えることが多く、ご家庭での療養は難しいのが現実です。私がモットーとしているのは、「困った患者さんを良くしたい」という思いです。この病棟運営も同様で、患者さん、ご家族が困ることのないよう、その役割を果たしていく考えです。

当院のドクターはもちろん、他の武田病院グループの医師、開業医の先生方とも協力し、一緒になって地域の患者さんを支えていきたいと考えております。今後とも皆さんのご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。



院長 若林 詔

## &lt;プロフィール&gt;

昭和45年、京都大学医学部卒。48年に田附興風会北野病院整形外科副部長に就任。京都大学整形外科助手、松江赤十字病院整形外科部長を経て、60年、米国A.I.デュポンインスティテュートに留学。京都市立病院整形外科部長を経て、平成元年に康生会武田病院副院長に就任。21年に十条武田リハビリテーション病院院長に就任。29年2月から現職。日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病認定医、日本整形外科学会認定リウマチ認定医、日本運動器リハビリテーション学会認定医

## 医療法人 財団 医道会 十条武田リハビリテーション病院

## 謙虚な気持ちで患者さん中心の医療を提供

私のライフワークは「安全な医療」です。病院が一番大事なものとして貫かないといけないのがこの「安全な医療」です。目覚ましい進歩を遂げる今日の医療ですが、「すべて100%治療する」ということは難しく、どんな名医であっても100%にはなり得ません。それをチームで補い合いできるだけ100%に近づけていく、そうした努力を行ってまいります。

ただ、病気を治すのは、我々医療者ではなく実は「患者さん自身」です。ともすれば医療者は、「自分達が治している」と思いがちですが、実際には患者さんが治るのを支えているだけなのです。手術もその一つの手段でしかありません。謙虚な気持ちで患者さんの考えを尊重し、適切な治療の選択肢を丁寧に説明することが重要です。

あくまでも患者さんが中心です。そのためには疾患だけでなく、患者さんの暮らしや経済状況など、生活背景を考慮することも求められます。当院は在宅復帰をめざす「回復期リハビリテーション」を主としているので、尚のことです。私自身、ケアマネジャーの資格を取得し、FP（ファイナンシャルプランナー）の資格も勉強しているところです。

患者さんを中心とした質の高い医療の提供を通じ、さらに地域に貢献できるよう努力いたします。



院長 勝見 泰和

## &lt;プロフィール&gt;

昭和49年、京都府立医科大学卒業。同大学整形外科教室、公立南丹病院整形外科、松下病院整形外科を経て55年、オーストラリアに留学（マイクロサージェリー及び手の外科研究）。済生会京都府病院、京都府立医科大学整形外科教室講師を経て、平成元年、明治鍼灸大学（現・明治国際医療大学）整形外科教室教授に就任。16年、同大学附属病院副院長に就任。19年に宇治武田病院院長に就任。29年2月から現職。京都府医師会医療安全対策委員会副委員長、医療事故対策処理室メンバー。

## 宇治武田病院

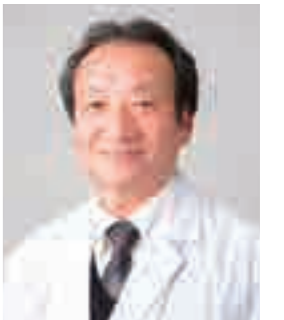
## 地域の方を家族のように思う病院づくり

京都府南部地域で安全・安心かつ質の高い医療を提供しているのが宇治武田病院です。年間1000例以上の手術を行い専門的な医療を提供するなど、大学病院に比肩する程と言えるでしょう。遠くの専門的な病院まで行かなくても、この地域で最先端の医療や非常に専門的な医療を提供できるのは大変意義あることだと思います。

私が専門とするのも非常に特殊な医療分野で、生後数ヶ月のお子さんの先天性疾患（股関節脱臼や先天性内反足）に対応しています。また、脚延長術も行っています。難しい症例もありますが、いつも「自分の子供だったらどうする?」と家族の視点で最善の治療に努めています。これはグループ理念の「ブリッジザギャップス（橋をかけよう）」に通じています。

地域の方を家族のように思うためには、まず病院の全職員が家族のように思いあつて働けるような環境をつくらなければならない、というのが私の考えです。

その点、宇治武田病院では、看護職が患者さんのために演奏会を開くなど、温かさに満ちた環境にあると感じます。これからさらに愛情あふれる病院として、また、より質の高い医療を提供できる病院として発展するよう努力してまいります。



院長 金 郁喆

## &lt;プロフィール&gt;

昭和57年、信州大学医学部卒業。京都府立医科大学附属病院整形外科教室、近江八幡市民病院、済生会吹田病院、公立湖北総合病院を経て、平成2年、アメリカ合衆国メイヨークリニックに留学。4年、京都府立医科大学整形外科教室に勤務。14年、同大学講師に就任。17年、同大学助教授に就任。25年、骨折治療学会評議員、同大学小児整形外科教授に就任。28年11月、宇治武田病院院長代理に就任。29年2月から現職。日本整形外科学会代議員。日本小児整形外科学会理事。京都府立医科大学特任教授。

## 医療法人 財団 康生会 武田病院

患者さんにとって最適な治療選択を支え  
安全で確度の高い医療提供をめざします

1月に着任した井ノ本琢也です。消化器外科医で専門としているのは上部消化管(胃、食道)です。なかでも「がん」を中心とした治療を行っており「出来るだけ再発の少ない」治療に尽力しています。治療で最も大切なのは安全です。合併症をできるだけ少なくするよう常に腕を磨いています。

治療に際しては、手術をしない選択肢も含め、考えられる治療法を患者さんにご提示し、患者さんにとって最適な治療の選択を支えています。

患者さんやご家族への説明に際しては、専門用語をできるだけ避け、分かりやすい説明を心掛けています。

例えば当科では、体力が落ちているのに「抗がん剤」を希望されるケースが少なくありません。こうした場合には、『兵隊の数が極端に少ないのに武器をたくさん渡しても「がん」と戦えないでしょ。体力をつけてリンパ球とか白血球とかの兵隊さんを増やしてはじめて効果を発揮できる治療なのです』と、例え話をすることで理解を深め、患者さんと一緒に



井ノ本 琢也(いのもと たくや)  
外科 副部長

- ・1986年京都大学医学部卒
- ・1996年同大学大学院博士課程修了
- ・日本外科学会 認定医 専門医
- ・日本消化器外科学会 専門医 指導医  
消化器がん外科治療認定医
- ・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
- ・日本食道学会 食道科認定医  
食道外科専門医
- ・日本乳癌学会 認定医

なって治療をすすめることを行っています。何より、患者さんが早く治る一番良い治療につなげたいですね。

康生会武田病院はとてもアットホームで、医師間のコミュニケーションのとりやすい良い環境です。今後さらに連携を深め、よりよい医療を提供してまいります。

## 医療法人 医仁会武田総合病院

## 臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ

医師臨床研修において、研修医を直接指導できるのは指導医講習会を修了した指導医に限られます。当院では各診療科に必ず1名以上の指導医を配置して臨床研修の体制を整えておりましたが、このたび医師臨床研修をより充実させるため、指導医講習会を1月8・9日に開催しました。

当院から21名の他、開業医研修でお世話になっている伏

見医師会醍醐班の辻康平先生にも受講していただきました。

当日は、カリキュラム・プランニング、コーチング、メンタルヘルス、フィードバックなどについてグループワークやバズセッションを通して楽しく学び、受講者は単に知識や技能を教える上級医から、研修医を総合的に指導できる指導医に大きく変身しました。



## 医療法人 医仁会武田総合病院

看護功労者等知事表彰に  
塚本美晴看護部長

医仁会武田総合病院の塚本美晴看護部長が、平成28年度京都府保健医療功労者等知事表彰を受賞。昨年11月1日に京都府公館レセプションルームで表彰式が行われ、山田啓二知事から表彰を受けました。

この表彰は、保健医療功労者、救急医療功労者、看護功労者の3部門があります。塚本看護部長は「長年、京都市市内の病院等に勤務し、看護教育の充実や看護業務の改善に取り組み、看護管理者として看護の質の向上に貢献した」との功績理由から看護功労者表彰を受けました。これを機会に当グループでは、さらに保健医療の発展に寄与してまいります。



医仁会武田総合病院  
看護部長  
塚本 美晴

## 医療法人 財団 康生会 北山武田病院

## 訪問診療・往診を行っています

「定期的な通院が困難」「できるだけ自宅で療養生活を送りたい」というご希望に沿うため、北山武田病院では訪問診療を行っています。具体的には、患者さん、ご家族のご希望や状況等を伺ったうえで、症状に応じ、定期的に訪問診療をさせて頂くものです。急変時にも臨時往診にお伺いできる体制を整えております。

地域医療における役割や地域住民の皆さんとの信頼関係を大切にして関係医療機関・ケアマネジャー・訪問看護師といった方々との連携も積極的に行っています。まずはお気軽にご相談ください(在宅療養のご相談もお伺いします)。



- 連絡先  
北山武田病院  
訪問診療担当へ  
☎075-721-1612(代表)

## 医療法人 財団 康生会 武田病院・康生会クリニック

## 糖尿病患者会「積翠会」日帰り旅行を楽しみました

康生会クリニック・康生会武田病院の糖尿病患者会「積翠会」は、しょうざんリゾート京都への日帰り旅行を11月13日に開催しました。参加したのは患者会会員さん11名のほか、医師2名・看護師2名・管理栄養士2名・健康運動指導士1名・事務職2名の合計20名です。ちょうど紅葉が始まるベストシーズンです。当日はお天気にも恵まれ、園内の散策では参加者から感嘆の声が挙がりました。

その後はチャイニーズレストラン「楼蘭」でのお食事会です。普段から食事療法を心がけておられる会員さんですので、料

理を目や舌で味わいながらエネルギーや味付けについての会話が弾み、歓談を楽しみながら交流する楽しいひとときとなりました。

食後には康生会武田病院の財木管理栄養士が「GI値って聞いたことありますか?」の内容で講演。クイズも取り入れながら血糖値を急激に上昇させない食事の摂り方を勉強しました。その後は康生会武田病院の松山フロアマネージャーがマジックショーを披露。会場は大いに盛り上がり、終日、笑顔で過ごすことが出来ました。



開会挨拶する康生会武田病院の  
葛谷顧問



同院栄養科の財木管理栄養士  
による講演(写真左)



同院の松山フロアマネージャー



終わりの挨拶をする武田病院健診  
センターの樹田所長

## 高齢者の社会参加について

日本老年学会・日本老年医学会は、2017年1月に、65歳以上の人を以下のように区分することを提言しました。

65歳～74歳「准高齢者」 75歳～89歳「高齢者」 90歳～「超高齢者」

近年の高齢者の心身の健康に関する種々のデータを検討した結果、現在の高齢者においては、10～20年前と比較して加齢に伴う身体機能変化の出現が5～10年遅延しており「若返り」現象がみられています。現在、前期高齢者とされている65歳～74歳は、活発な社会活動が可能な人が大多数だとして「准高齢者」に区分し、社会の支え手として捉えなおすことが、明るく活力のある高齢化社会につながるとしています。

そのようななか2025年を目指して地域包括ケアシステムの構築が重要な政策課題となっています。地域包括ケアシステムとは、今後、単身高齢者世帯や高齢夫婦のみ世帯の増加が予想される中、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域(日常生活圏)で生活できるようにするため、介護だけでなく、医療・介護予防・住まい・生活支援が包括的に確保されるシステムです。

地域包括ケアシステムの中で、生活支援・介護予防の部分を担当するのが、介護予防・日常生活支援総合事業です。保険者(市町村)が地域の高齢者の実情に応じて、必要な「生活支援」「介護予防」を「総合」的に行っていくものです。

平成29年度より本格的に全国で実施される介護予防・日常生活支援総合事業の基本的な考え方は…

- ①住民主体の多様なサービスの充実を図り、要支援者等の選択できるサービス・支援を充実し在宅生活の安全確保を図る。
- ②住民主体のサービス利用の拡充による低廉な単価のサービスや支援の充実。
- ③高齢者の社会参加の促進や要支援状態となることを予防する事業の充実による要介護・要支援認定に該当しない高齢者の増

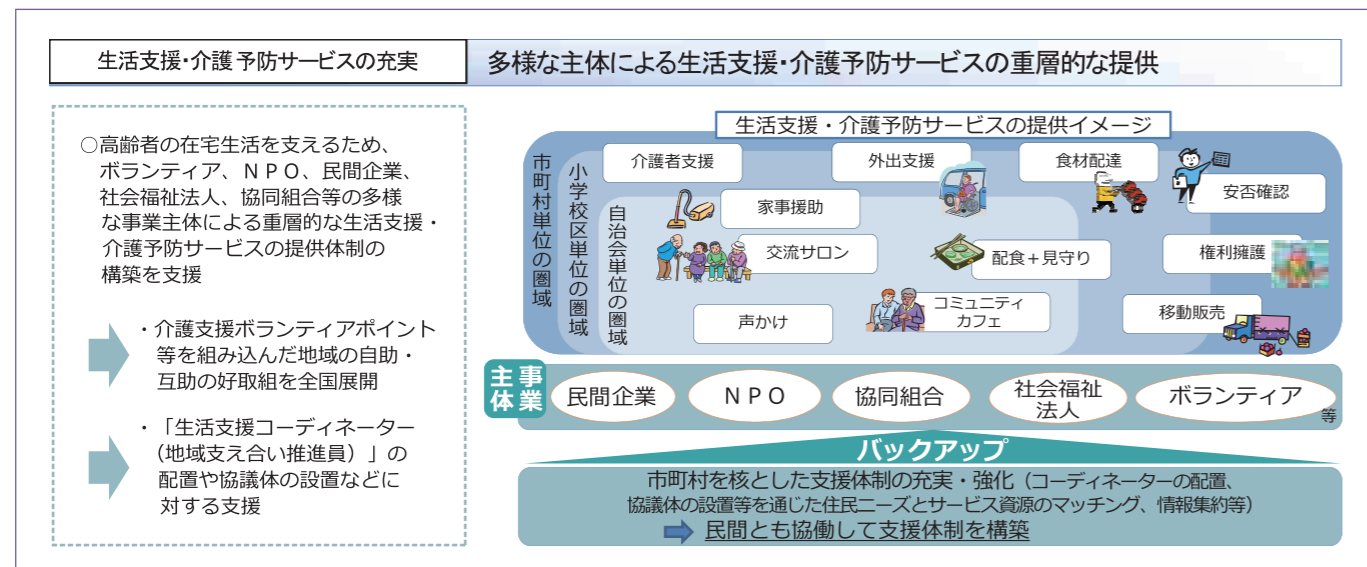
加、効果的な介護予防ケアマネジメントと自立支援に向けたサービスの展開による要支援状態からの自立の促進や重度化予防の推進等により、結果として費用の効率化が図られることを目指す。

平成27年度の介護報酬改定の狙いのひとつにICF(国際生活機能分類)にある「活動」と「参加」に焦点をあてた報酬体系が導入されたことも記憶に新しいところですが、介護予防・日常生活支援総合事業の狙いは、単に社会保障費用の抑制だけでなく、住民主体の多様なサービスを図ることです。それには、高齢者等の地域住民の力を活用する必要があり、高齢者の方々に社会の担い手として働いてもらうことにより、社会参加を促すことは、高齢者の方々の生きがいにもつながり、結果として、介護予防や閉じこもり防止の効果が期待できます。

まだまだ現役で働ける高齢者の方々が、社会参加することにより、生きがいを見つけ多様な方と触れ合うことで引きこもりを防ぎ、結果として健康寿命が伸びていくのであればとても良いことです。

高齢者の方々の社会参加を促す上で重要なことは、参加しやすいシステムを地域において構築していくことです。地域住民やNPO、社会福祉法人、民間企業等の多様な主体によるサービス提供に、生活支援の担い手として高齢者の方々が社会参加していくことが大切であり、我々武田病院グループにおいても、保健・医療・介護・福祉の資源を地域により有効に働きかけることにより、高齢者の方々が安心して暮らせる一助になることを職員一人ひとり心がけています。

武田病院グループ本部  
福祉介護事業部門  
QMS推進担当  
次長 市川 努



## 上手に食材を組み合わせてより健康に!!

食材を上手に組み合わせることにより、体内に取り込む栄養素の効果を促進・増幅することができます。

上手に食べて健康な身体を目指しましょう。

### ・骨粗鬆症に

#### ひじき+大豆製品

ひじきには牛乳の約13倍のカルシウムが含まれています。大豆に含まれるアルギニン・リジンという2つのアミノ酸がカルシウムの吸収を助ける働きをしてくれます。

### ・老化防止に

#### トマト+アボカド

トマトに含まれるリコピンは抗酸化作用(老化防止)が高く、脂質と一緒に摂取することで体内への吸収率がよくなります。アボカドは森のバターとも呼ばれ、良質な脂質を豊富に含んでおり、リコピンとの相性もバツグンです。

### ・疲労回復に

#### 豚肉+たまねぎ

豚肉には、疲労回復ビタミンと呼ばれる「ビタミンB1」が豊富に含まれています。そして玉ねぎにはそのビタミンB1の吸収を助ける硫化アリルという成分が多く含まれているのです。



あいらの杜 宇治五ヶ庄  
主任 栄養士  
白井 裕基

### 【ひじき入り豆腐ハンバーグ】

エネルギー168kcal たんぱく質11.8g 食塩相当量1.8g

#### 材料(4人分)

絹ごし豆腐240g、豚ミンチ120g、玉ねぎ60g、乾燥ひじき4g、  
A【片栗粉30g、酒・みりん各10g(小さじ2弱)、濃口しょうゆ24g(小さじ4)】、  
大根100g、大葉4枚、ポン酢60g(大さじ4)

#### 《作り方》

- ①乾燥ひじきはお湯で戻して絞っておき、豆腐は水切りしておく
- ②玉ねぎはみじん切りにしてレンジで3分間加熱し荒熱を取り、大根はおろしておく
- ③ひじき・豆腐・ミンチ・玉ねぎとAを混ぜ合わせよくこねる
- ④成形しフライパンにサラダ油を引いて両面を焼いていく
- ⑤火が通れば大葉と大根おろしを乗せ、ポン酢をかけていただく



1point 豆腐はキッチンペーパーに包み耐熱容器に乗せレンジで1分これで水切り完了!

### 【トマトとアボカドのガーリックサラダ】

エネルギー129kcal たんぱく質1.8g 食塩相当量0.4g

#### 材料(4人分)

トマト240g(大1個)、アボカド160g(1個)、にんにく10g(2かけ)、レモン汁10g(小さじ2)、  
A【濃口しょうゆ12g(小さじ2)、オリーブ油12g(大さじ1)】

#### 《作り方》

- ①トマトは一口大に、にんにくはみじん切りにしておく
- ②アボカドは縦半分に切り種を取り、皮をむく一口大に切りレモン汁をふりかけておく
- ③トマトとアボカドをにんにく、Aと混ぜ合わせ器に盛りつける



1point 切ったアボカドにレモン汁をふりかけておくと変色を防げます



武田病院グループは、タケダメディカルフーズサプライセンターという給食センターを有しています。徹底した衛生管理のもと、グループ内ほぼ全ての施設に食事の提供を行っております。平成29年4月には開設10周年を迎えます。今後も患者さんや介護福祉施設に入居されているご利用者さんにお届けする食事の満足度を追求し、日々「喜んでいただける食事」の提供にむけて取り組んでいきます。



## ご存知ですか?『ポリファーマシー』

### 『ポリファーマシー』とは?

ポリとは「多くの」、ファーマシーとは「薬」という意味です。年齢を重ねると、1つだけでなくいくつもの病気にかかりやすくなり、慢性的な症状に悩まされることが多くなります。すると複数の医療機関や診療科に受診することになってしまいます。さらに、それぞれの診療科で治療薬を勧められ、いつのまにか多くの種類の薬を服用する『ポリファーマシー』という状況が長期間続くことが少なくありません。

薬には副作用や相互作用がありますので、薬が多ければ多いほど副作用や相互作用が増える可能性があります。また飲み忘れや飲み過ぎなど正しく服用できないことによる有害事象の発生も増えてしまうことがあります。

高齢者では若年者に比べて薬物有害事象の発生が多いと言われています。急性期病院の入院症例では、高齢者の6～15%に薬物有害事象を認めており、60歳未満に比べて70歳以上では1.5～2倍の出現率を示すとも言われています。それは、加齢による体の変化により薬の効き目などさまざまな影響が出てくるためです。

### 加齢による体の変化とは?

①薬の代謝を行う肝臓や排泄を行う腎臓の機能低下

②体の水分量が減り、体脂肪が増える

このような理由でお薬が体に溜まりやすくなり、お薬の効き目が強くなったり長く続くことにより有害事象が増えてしまいます。

厚生労働省研究班や日本老年医学会などの共同調査から、5～6剤以上を服用する患者さんに転倒が多くみられるようになり、緊急入院や通院の長期化といった問題が起きることが分かってきています。

### 『ポリファーマシー』による有害事象を防ぐために

①お薬手帳を活用しましょう

診察を受ける際には医師にお薬手帳を見せ、今飲んでお薬の内容を伝え相談してください。服用中のサプリメントや市販薬についても記録しましょう。

②かかりつけ薬局を1ヶ所に決めましょう

複数の医療機関にかかっている場合、かかりつけ薬局は1ヶ所に決めてください。薬の重複や飲み合わせがより適切に確認できます。

### ③お薬の整理をしましょう

ご自宅に飲み忘れや自己調節で余ったお薬がある場合は、医師や薬剤師に相談してください。適切な飲み方や数量に調節したり、「お薬を管理しやすくする工夫」についても一緒に考えましょう。

#### お薬を管理しやすくする工夫

|               |                                             |
|---------------|---------------------------------------------|
| 薬の数を少なくする     | 降圧薬や胃薬など同効薬はより効果のある1剤か配合剤にまとめる              |
| 薬を飲む回数を減らす    | 1日3回服用を2回あるいは1回に切替えたり、食前、食直後、食後30分などの混在を避ける |
| 薬を飲みやすいタイミングに | 1日の中でも飲み忘れの少ない時間にまとめる(例:出勤前、帰宅後など)          |
| 薬の剤形の工夫       | 口の中で簡単に崩れる錠剤や貼り薬を選ぶ                         |
| 薬の管理を簡単に      | お薬の一包化やお薬ケース、服薬カレンダーを利用する                   |

高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015より

『ポリファーマシー』による有害事象を防いで、生活の質(QOL)を大切にしましょう。ご自身やご家族のお薬で気になること、お困りのことがありましたら、お気軽に薬剤師にご相談ください。

康生会武田病院  
薬局長 林 千麗



## 簡単!屋内での健康づくり ～ステップ運動のススメ～

武田病院グループの健康運動指導士は、色々な職種の医療従事者と協力し、心臓リハビリテーション、生活習慣病予防、介護予防等の運動指導を行っています。

虚血性心疾患と関係が深い動脈硬化は、加齢や生活習慣によって進展すると言われています。しかし、持久力が高くなると動脈硬化に関連する病気のリスクが減り、筋力が高まると生活の質が良くなり、介護予防にも役立ちます。そのため、病気の発症や進展の予防には、持久力や筋力を高めておくことが必要です。

歩くことは実施しやすい運動の一つですが、暑い日や寒い日、雨の日は外に出ることが億劫になる方がいます。そこで今回は、家やマンションの階段の段差を利用した、ステップ運動をご紹介します(写真参照)。

ステップ運動は、心臓や肺の機能を高め、脚を持ち上げる筋肉(股関節の周辺)や体を支えて踏ん張る筋肉(太もも周辺)を強くする効果があります。段差(台でも可)の高さや昇り降りするテンポによって、運動の強さを調節できます。運動の強さは、「楽である～ややきつい」を目安に行いましょう。

日常生活の中の少しの時間を健康づくりに活用してみましょ。

康生会武田病院 リハビリテーション科  
健康運動指導士  
鈴木 喜也

### 階段を利用したステップ運動

#### 【手順】

①右足を乗せる



②左足を乗せる



③右足を降ろす



④左足を降ろす



●テンポ：童謡『うさぎとかめ』に合わせて行ってみましょう。

「もしもしかめよ〜、かめさんよ〜、せかいのうちで〜、おまえほど〜、あゆみののろい〜、ものはない〜、どうしてそんなに、のろいのか〜」

※足を動かすごとに1回(1歩)と数えます。

※『うさぎとかめ』の1番を歌うと32回になります。

※速歩き程度の強さぐらいです。曲は「春がきた〜♪」でもいいです。

●時間：「もしもしかめよ〜♪」の1番を歌うと約30秒になります。まずは30秒から始め少しずつ時間をのばしましょう。

#### 【注意点】

- ・ステップ運動前後に準備体操・整理体操を行いましょう。
- ・息切れがなく、疲労感が残らない楽に出来るテンポで行いましょう。
- ・転倒の不安がある方や膝の悪い方は手すりを持って行いましょう。
- ・膝の悪い方は、昇る時は痛みのない膝から、降りる時は痛みのある膝から行いましょう。
- ・病気の治療を受けている方は、運動を開始する前に主治医に実施の可否を確認しましょう。

# 第8回 武田病院グループ 看護研究発表会 地域包括ケア時代へ22題の多彩な研究

「看護研究」は  
機能と品質の指標

武田病院グループの看護研究の成果を発表する「第8回看護研究発表会」を2月11日(土)、下京区のしんらん交流館で開催しました。

当日は、京都光華女子大学健康科学部看護学科の中平みわ准教授、研究会顧問の内藤和世院長(康生会武田病院)、森田陸司院長(医仁会武田総合病院)など多くの来賓の先生を迎え、さらにグループ35施設・321名もの参加で会場は満席。立ち見が出るほどになりました。

冒頭挨拶で高野満希子実行委員長は、「2025年問題とこれに対応する地域包括ケアシステムの重要性に触れながら、「グループ内外の連携を今以上に強化していく必要があります。そのなかで看護職員や介護職員が、それぞれの仕事の向上をめざし学習することに意義があります」と、研鑽する姿勢の重要性を語りました。

また、来賓挨拶で内藤院長は、「看護

研究をみるとその病院、介護施設の提供する機能・質が分かる」と看護研究が重要なメルクマールであることを強調。そのうえで「今日、一年間の成果を発表して頂き、それをしっかりと評価して明日からの医療・介護につなげたい」と語りました。



山本薫里看護部長(本部 看護部) 内藤和世顧問(康生会武田病院院長) 高野満希子実行委員長(特別看護老人ホームヴィラ山科)

スケールメリットを活かし  
複数施設での協同研究へ

今回の発表は過去最大規模の22演題です。病院13演題、介護施設7演題、訪問看護ステーション1演題、地域包括支援センター1演題。所属施設も幅広く、テーマも臨床だけでなく、教育・人事交流・連携など多彩な研究アプローチの発表となりました。

発表者はもちろん参加者にとっても真剣勝負の場です。質問タイムでは会場から次々と手が上がり、疑問点を確認したり自施設との比較意見などが出されます。時には発表者がたじろぐ場面もあるほどで、非常に有意義な研鑽の機会となりました。

山本薫里看護部長(本部看護部)は、「笑みある看護研究発表会でした。発表された方、今日、聴講された方にとって明日からのケアの質の向上につなげて欲しい」と総評しました。ただ、現在の状況に満足するのではなく、「今後は単独ではなく、複数の施設が一緒に連携してこの研究をさらに深めて



会場から次々と鋭い質問が出され、発表者は一つひとつ丁寧に答えました



|                                     | テーマ                           | 発表者                | 所属              |
|-------------------------------------|-------------------------------|--------------------|-----------------|
| 口演                                  | 重曹水を使用した口腔ケアの有効性              | 佐々木俊介              | 加茂の里            |
|                                     | 口腔ケアにおけるアロマセラピーとタッチングの有効性について | 前園あづさ              | 北山武田病院          |
|                                     | 車椅子安全ベルトに対する意識調査              | 高橋唯衣               | 康生会武田病院         |
|                                     | 認知症利用者の不眠・不穏に対してのアロマセラピー      | 森 弘樹               | ヴィラ山科           |
|                                     | 中国人看護師に対する看護継続教育のあり方          | 丸山理奈子              | 十条武田リハビリテーション病院 |
|                                     | 地域に出向いて「ヴィラ鳳凰」のアピールをしよう       | 北村裕子               | ヴィラ鳳凰           |
|                                     | 施設内人事交流を実施して                  | 藤野克彦               | いわやの里           |
|                                     | 急性期病棟看護師が抱くがん患者の看取りにおける想い     | 伊藤弥生               | 康生会武田病院         |
|                                     | 「看護を繋ぐ取り組み」                   | 吉原由美子              | 北山武田病院          |
|                                     | 脊柱管狭窄症術後の症状に対する思い             | 吉田麻美               | 医仁会武田総合病院       |
|                                     | 口腔内の乾燥と細菌数の関係                 | 飯母 恵               | 精華町国民健康保険病院     |
|                                     | 看護師が行う家族支援の実態調査               | 島名真衣子              | 医仁会武田総合病院       |
|                                     | A病院における「がん終末期看護ケア」の実態         | 氏平景子               | 宇治武田病院          |
|                                     | 地域包括ケアシステム構築の一環として            | 岡田知子               | 下京・中部地域包括支援センター |
|                                     | 介護療養型医療施設におけるエンドオブライフ         | 山田純子               | 木津屋橋武田病院        |
|                                     | 医療機関と訪問看護の連携を考える              | 川口麻紀子              | 訪問看護ステーション      |
|                                     | 示説                            | 開設から現在に至る取り組み状況と課題 | 松井敏矢            |
| ユニットケア推進委員会にかけた                     |                               | 松本 恵               | ヴィラ稲荷山          |
| 慢性期患者家族の看取りへの思いと、医療従事者のDNRIに対する意識調査 |                               | 村松美代子              | 宮津武田病院          |
| STAS-J導入前後の看護師の意識の変化                |                               | 野口幸子               | 稲荷山武田病院         |
| コルセットを装着している患者の褥瘡リスクについて            |                               | 前川涼子               | 康生会武田病院         |
| 多職種連携による経口摂取支援                      | 山田敦子                          | 白寿                 |                 |



看護研究発表会示説会場の様子



展示会場では6題の発表が行われました

いくべき。それがグループのスケールメリットとなる」とさらなるステップアップについて語りました。

武田病院グループ  
看護研究発表会実行委員会

「目に見えない命」に祈りを捧げる



「目に見えない命」に祈りを捧げる

暮れゆく一日、皆さまとご一緒に、武田病院グループ物故者1199御柱の総供養会を営むことができました。1199の命は、医療従事に当たられた皆さまが手塩にかけて命でした。そして、今は他界され、「目に見えない命」になられました。しかし、「目に見えない命」に対して祈りを捧げ、呼びかけること、これがご廻向でございます。また、廻向のこの一つの祈りは、今生きている私たちの命、「目

に見える命」に対しての祈りでもあります。

とりわけ、病院の医師の皆さまから、長きにわたって命を診ていただき、その命を全うされました。その命への祈りは、めぐって自分が安寧であるように祈りを捧げることとでありましょう。これが御祈願でございます。生きている人たちが、先に旅立たれた人たちに對する祈りを捧げてくださるということ、これを生きているうちに聞き、そして共に祈ること。それによって、大きな安心を得ることができ、るわけでございます。

今日、皆さまと共に、医療従事に当たられた皆さまが本当に手を尽くされた1199の御霊は、安らかに眠りにつかれました。そして

このひと時の祈りは、後に続く多くの命に対して安心を与える人と言えるのです。

人と人との語らいの中から安心は生まれてまいります。私たちの身の回りでは、安全、安心ということが、事ある度に語られております。しかし、安全は構築されていくものであります。安心は、人と人との語らいの中から生まれてくるものです。正しい言葉で、優しい心で話し合うこと、これが何より肝心なのです。

医療に携わる皆さまに対し、私たちができ得ることを、一人ひとりが果たしてまいります。病に苦しむ方、また命を全うされた方々に対して語りかけてゆくこと、これが大きな使命であります。

靈性的自覚のさらなる向上を目指す

私たちはそれぞれ心の底に、靈性的な自覚を持って当たっております。どうぞ、医療従事者の皆さまも、折があったならば、祈りを捧げ、そして先立たれた命に対して呼びかけ、ご自身の靈性的自覚のさらなる向上を目指していただき、靈性的自覚を全ての物事の分別の基礎に置いていただければ、より豊かな実り多い日々をお過ごしいただけるものと思っております。

今日は皆さまとともに、ご廻向ができましたことを心から感謝申し上げます。有難うございました。

武田病院グループ 職員採用について

「思いやりの心」で人とのつながりを大切に  
私たちと共に理想の医療を追求しませんか  
武田病院グループの未来を担っていただける  
意欲的な方の応募をお待ちしています



看護師

患者さん個々の尊厳を守り、生活が整えられるようにケアや支援をしています。一人ひとりがやりがいを持って成長できる環境が整っています。



わたし達と一緒に学び  
笑顔をお届けませんか?

薬剤師

正確で迅速な調剤をはじめ、薬品管理、医師への医薬品情報の提供や、患者さんへの服薬指導など、薬にまつわる全ての仕事を担うのが私たち薬剤師の仕事です。



薬にまつわる  
全ての仕事を  
担っています

介護職

利用者さんの生活を支える介護を提供します。体調や気持ちの変化をいち早く察し適切なケアにつなげています。先輩職員がしっかりサポート。介護福祉士取得を支援します。



わたし達は  
「気付き」の  
第一人者です

栄養士、調理師(補助)

食事は治療の一環。安心・安全な食事を患者さんや病院職員へ届けています。「美味しい」と喜んでいただける食事を目指して私たちと一緒に働いてみませんか。



食事を通して  
医療を支える  
お仕事です

募集中です

臨床工学技士 作業療法士 言語聴覚士  
社会福祉士 介護支援専門員 介護福祉士 看護補助者

武田病院グループは「京都市いきいき働く医療機関」宣言病院です

「雇用の質向上に取り組む」ことを宣言・公表して勤務環境改善に取り組む京都市内の病院を京都市府内医療勤務環境改善支援センターが認定する制度です

※募集内容や募集職種の詳細等につきましては  
武田病院グループ採用サイトをご確認ください  
採用についての問い合わせ  
recruit@takedahp.or.jp

武田病院グループ 採用サイト

<https://www.takedahp.or.jp/recruit/>



<http://www.takedahp.or.jp/>

たけだ [第111号]  
●発行人/武田隆男  
●発行所/京都市下京区塩小路通西洞院東入ル  
医療法人財団康生会武田病院  
TEL 075-361-1351(代)  
●編集人/「たけだ通信」編集室  
●発行日/平成29年3月1日

